

# かすが



すべての子どもが 仲間とともに いきいきと学べる 春日小学校

## 2学期が、はじめました！

それぞれの教室で、子どもたちの元気な声が響き、学校に活気が戻ってきました。2学期も、子ども一人ひとりが「自分のベスト」を尽くせるよう、毎日の学習活動や学校行事等に取り組んで参りますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、始業式で校長からの話では、次のことを子どもたちに伝えました。1学期にも伝えていることですが、2学期が始まるにあたって改めて全体で確認しました。

- 1 『「ともだち」や「なかま」と、これまで以上につながりあい、安心感のある学校や学年・学級をつくっていこう』



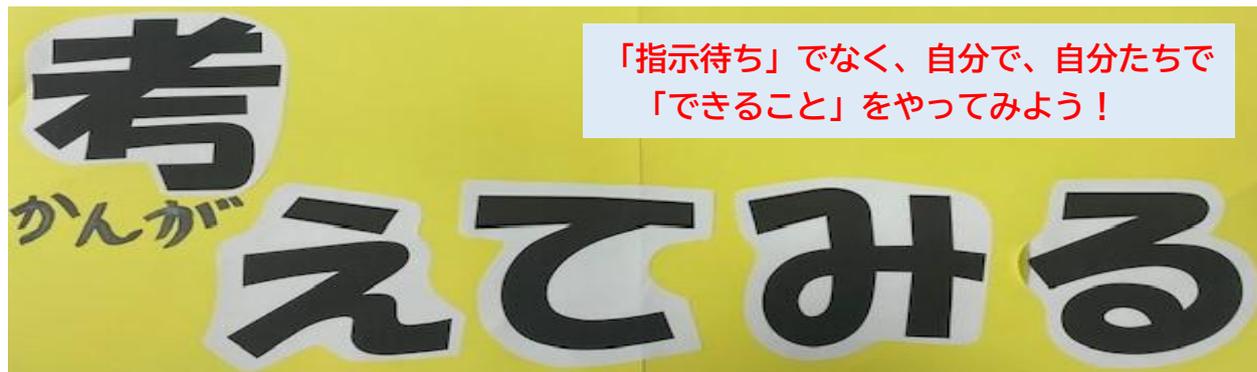
わからない時やこまった時に、みんなが自分から「おしえて」と言うためには安心してることが大事。笑われるかも…等、心配があったら言えない言葉。なんでも「おたがいさま」です。



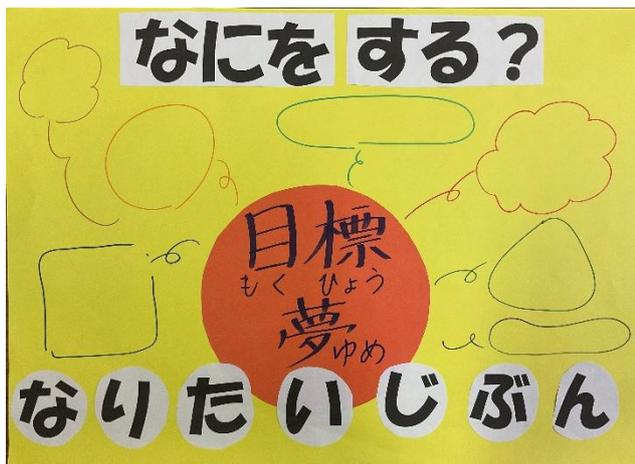
だれにでも「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられるってすばらしいですね！友だちや知っている人だけでなく、地域の方や知らない人でも、何かしてもらったら、「ありがとう」です。



- 2 『自分から、自分たちから進んで考え、実行していこう！』



### 3 『にがてなことでも、しんどくても、チャレンジしよう!』



9月中旬から、**10月11日(土)**に行われる運動会に向けた取組が始まります。高学年は、演技や競技だけでなく、各自が役割を持って学校全体のために動く係活動にも取り組みます。

そこで、子どもたちには、運動会での演技や競技等は、**何のために取り組むのか?**ということを考えてもらいたいと思っています。

「仲間とともに協力して取り組んでいくこと」  
「しんどくても最後まで頑張りぬくこと」等の意義を仲間や先生と一緒に考えてみましょう!

それぞれが自分の目標をもって取り組んで、「がんばれた」「できた」と達成感、充実感を自分なりに実感し、これから先の成長につなげていこう!

「とくいなこと、にがてなこと」は誰にでもあることです。指導する先生たちは、できないことや失敗したことを叱ることはしません。やりもしないであきらめたり、頑張っている人を笑ったり邪魔したりするときに叱ります。

させられる運動会ではなく、**自分から進んで頑張る運動会**にしていきましょう!

## 2学期初日の教室では…

先生の話真剣に聞く子どもたち。クラスの仲間と夏休みの思い出を話す子どもたち。

楽しいときも、苦しいときも、仲間とつながり、力を合わせて有意義な時間が過ごせる学年・クラスにしていけます!



チョークで素敵なイラストとメッセージが描かれていたクラスも♪

「夏休みすごろく」「夏休みビンゴ」ゲームをしながら、思い出を楽しく語り合うクラスもありました。クラスの仲間のいろいろな話を聞きあい楽しそうな子どもたちの姿もありました。今日、お休みをしていた仲間の話も、別の時間で聞けたらいいですね。

2学期のドリルを使って、どんな風に学習を進めていこうでしょうか? **「自主学习」**

## 「見えない学力」こそ、最もつけさせたい「力」です

「学力向上」という言葉は、国語や算数等「点数」を上げることだと「見える学力」だけがクローズアップされがちです。しかし、「学力」は「点数」だけで決まりません。相手を思いやる行動をしたり、自分の考えを相手に伝えるなどの「コミュニケーション能力」、困難なことにもあきらめずに取り組む「チャレンジする力」等の「見えない学力」も大切であり、むしろ、子どもたちの10年後、20年後、つまり、社会人として仕事をする子どもたちの姿を想像したときに、これらの「見えない学力」の方が重要だと思っています。

大阪市立大空小学校の初代校長、木村泰子先生は「見えない学力」には「4つの力」が必要だと話しています。

### 人を大切にできる力・自分の考えを持つ力・自分を表現する力・チャレンジする力

「あいさつをしましょう」「思いやりの心をもって、人に接しましょう」「自分の考えや気持ちを自分の言葉で伝えましょう」「苦手なことにもあきらめずにチャレンジしましょう」等、子どもたちは、学校生活のあらゆる場面でこれらのメッセージを伝えられています。

今年度、子どもたちが、自分で、自分たちで考えて取り組めるようになってほしいという願いをもって、各学年での取組を進めています。大切にしたいことは「自立・自律」です。大人の指示を待つだけでなく、誰かにやってもらうだけでなく、「自分で、自分たちで出来ることは何か？」を考え、子ども同士で協力して学習活動に取り組んでほしいと考えています。

子どもたちが、一人の人間として成長していけるよう、これからもともに見守り、育てていきたいと思います。



## 「こども110番の家」

玄関先に、この旗をかかげている家があります。何か事件にまきこまれそうになったときに、助けを求めることができる場所です。

### 「自分の命は、自分で守る」

お子さんが自分で判断し、行動できるよう、家庭でのご指導もお願いします。

**こども110番**  
おも ばん いえ  
あぶないと思ったらこども110番の家へ

こんなときは110番の家にいげよう！

- ・つれていかれそうになった
- ・へんな人がついてきた
- ・うでをつかまれた
- ・体をさわられた

枚方市・枚方市青少年育成指導員連絡協議会

The poster features a yellow background with a blue border. It includes a cartoon illustration of a house with a flag and two children. The text is in Japanese, providing information about the 'Children's 110 Number Home' initiative.

【保護者・地域の皆様へ】 ※日ごろから、「あいさつ」をして顔見知りになることも大切です！

買い物のついでなど、近所や通学路等にある「こども110番の家」をお子さんとチェックしてください。登下校も含め、地域の皆様の子どもたちへの声かけも、引き続き、宜しくお願いします。

\*近日中に、9/18（木）に行われる「フリー参観」についてお知らせする学校日より「かすが」をお送りします。子どもたち、学校の様子を見に、是非ご来校ください！

いつもピカピカで、「ありがとう！」が学校中にあふれる春日小学校